

消 防 団



【第7分団小型動力ポンプ付積載車引渡式】

1 消防団のあゆみ

昭和 22 年 6 月 5 日	大和町消防団設置条例を制定
6 月 16 日	渋谷町消防団設置条例を制定
昭和 25 年	大和町消防団 腕用ポンプ 4 台・手引ガソリンポンプ 3 台を装備 8 個分団・構成団員数 500 人とする。
昭和 28 年	大和町消防団 腕用ポンプ 14 台・手引ガソリンポンプ 4 台・自動車ポンプ 1 台を装備 9 個分団・構成団員数 500 人とする。
昭和 31 年 9 月	大和町は渋谷町と合併し大和町になる。
昭和 32 年 3 月 15 日	大和町消防団長に荻窪直義氏就任
昭和 33 年 3 月	日本消防協会会長表彰として消防団に「竿頭綬」が授与する。
昭和 34 年 2 月 1 日	市制施行・大和市消防団初代消防団長に荻窪直義氏が就任 大和市消防団・13 個分団・団員数 409 人で構成する。 大和市消防団・分団旗を作成する。
昭和 36 年 1 月 14 日	大和市消防団第 2 代消防団長に佐藤幸光氏就任
昭和 38 年	消防力の機械化が進み消防団員の定数は削減され、13 個分団・団員数 254 人となる。
昭和 39 年 2 月 7 日	大和市消防団第 3 代消防団長に北嶋次郎氏就任
7 月 1 日	大和市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例を制定
昭和 40 年 1 月 9 日	常備消防隊と消防団の出初式を深見小学校で挙行される。
1 月 26 日	大和市消防団第 4 代消防団長に金子利良氏就任
昭和 41 年 3 月 28 日	大和市消防団の設置等に関する条例及び大和市消防団員の定員、任用、 服務等に関する条例を制定
7 月 30 日	大和市消防団員の服務等に関する規則を制定
10 月 1 日	大和市消防団員等公務災害補償条例制定
昭和 42 年 1 月 31 日	大和市消防団第 5 代消防団長に平出寛氏就任
4 月 1 日	大和市消防火の丸会設立
昭和 43 年 10 月 7 日	第 18 回県消防操法大会の自動車ポンプの部に第 7 分団（現 6 分団）が 出場する（平塚市にて実施）。
昭和 44 年 4 月 1 日	大和市消防団第 6 代消防団長に坪井源二郎氏就任
10 月 9 日	第 19 回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第 3 分団が 出場する（横須賀市不入斗公園にて実施）。
昭和 45 年	第 20 回県消防操法大会の自動車ポンプの部に第 10 分団（現第 5 分団） が 出場する（神奈川県消防学校にて実施）。
昭和 46 年	第 21 回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第 12 分団（現第 11 分団） が 出場する（神奈川県消防学校にて実施）。
昭和 47 年 2 月 17 日	第 13 分団（現第 12 分団）車庫詰所（鉄骨造 2 階建）を福田 2021-26 に 建設する。
3 月 31 日	13 個分団・254 人・水槽付ポンプ自動車 2 台・普通ポンプ自動車 7 台・ 小型動力ポンプ自動車 9 台計 18 台にて運用。
8 月 13 日	第 22 回県消防操法大会の自動車ポンプの部に第 13 分団（現第 12 分団） が 出場する（神奈川県消防学校にて実施）。
昭和 48 年 2 月 20 日	日本消防協会会長表彰として消防団に「表彰旗」が授与される。

8月13日	第23回県消防操法大会の自動車ポンプの部に第2分団が出場する (神奈川県消防学校にて実施)。
昭和49年3月28日	第10分団(現第5分団)車庫詰所(鉄骨造平屋建)を中央林間一丁目4-9 に建設する。
8月	第24回県消防操法大会の自動車ポンプの部に第5分団(現第9分団)が 出場する(神奈川県消防学校にて実施)。
昭和50年3月22日	大和東三丁目火災で、消火作業に従事していた第6分団(現第4分団) 員が殉職、市主催の消防葬儀が4月8日に執り行う。
4月1日	大和市消防団7代消防団長に木下隆吉氏就任
8月	第25回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第8分団(現第7分団) が出場する(神奈川県消防学校にて実施)。
昭和51年8月6日	第26回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第6分団(現第4分団) が出場する(神奈川県消防学校にて実施)。
昭和52年3月31日	第12分団1班(現第11分団1班)車庫詰所(鉄骨造平屋建)を代官一 丁目20に建設する。
8月4日	第27回県消防操法大会の自動車ポンプの部に第1分団が出場する(神奈 川県消防学校にて実施)。
昭和53年2月14日	第3分団2班車庫詰所(1階鉄筋コンクリート2階木造)を深見3019に 建設する。
8月10日	第28回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第9分団(現第7分団) が出場する(神奈川県消防学校にて実施)。
9月27日	第7分団(現第6分団)の車両を小型動力ポンプ付積載車・ニッサン 1580ccに更新する。
昭和54年3月26日	第6分団(現第4分団)車庫詰所(鉄筋造2階建)を大和南一丁目9-14 に建設する。
	第9分団(現第7分団)車庫詰所(鉄骨造2階建)を西鶴間三丁目3-21 に建設する。
8月10日	第29回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第4分団(現第8分団) が出場する(神奈川県消防学校にて実施)。
昭和55年3月22日	第12分団2班(現第11分団2班)車庫詰所(1階鉄筋コンクリート造2 階鉄骨造)を上和田2707-1に建設する。
4月23日	大和市消防団・分団旗を制作、授与式を実施する。
8月11日	第30回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第11分団(現第10分団) が出場する(神奈川県消防学校にて実施)。
昭和56年2月18日	第11分団3班(現第10分団3班)の車両を小型動力ポンプ付積載車・ いすゞ1580ccに更新する。
	第13分団(現第12分団)の車両を小型動力ポンプ付積載車・いすゞ1580cc に更新する。
3月24日	第5分団(現第9分団)車庫詰所(鉄骨造2階建)を中央六丁目2-2に 建設する。
	第11分団3(現第10分団3班)車庫詰所(鉄骨2階造)を上和田1191-1 に建設する。
8月7日	第31回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第7分団(現第6分団) が出場する(横浜市杉田製作所ヘリポートにて実施)。

昭和 57 年 3 月 24 日	第 3 分団 1 班車庫詰所（鉄骨造 2 階建）を深見 484-4 に建設する。
	第 11 分団 1 班（現第 10 分団 1 班）車庫詰所（鉄骨 2 階建）を上和田 947-15 に建設する。
8 月 12 日	第 32 回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第 3 分団が出場する（横浜市杉田製作所ヘリポートにて実施）。
11 月 18 日	第 1 分団の車両を小型動力ポンプ付積載車・ニッサン 1590cc に更新する。
	第 5 分団（現第 9 分団）の車両を小型動力ポンプ付積載車・ニッサン 1590cc に更新する。
昭和 58 年 2 月 24 日	第 1 分団車庫詰所（鉄骨造 2 階建）を下鶴間 466-2 に建設する。
	第 4 分団（現第 8 分団）車庫詰所（鉄骨造 2 階建）を上草柳 197-5 に建設する。
4 月 1 日	大和市消防団第 8 代消防団長に菅 沼 善 治 郎 氏就任
8 月 3 日	第 33 回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第 10 分団（現第 5 分団）が出場する（平塚市オーミケンシ(株)工場跡にて実施）。
9 月	第 11 分団 2 班（現第 10 分団 2 班）の車両を小型動力ポンプ付積載車・トヨタ 1580cc に更新する。
	第 12 分団 2 班（現第 11 分団 2 班）の車両を小型動力ポンプ付積載車・トヨタ 1580cc に更新する。
昭和 59 年 3 月 21 日	第 3 分団 3 班車庫詰所（鉄骨造 2 階建）を深見 3328-14 に建設する。
	第 11 分団 2 班（現第 10 分団 2 班）車庫詰所（鉄骨造 2 階建）を福田一丁目 30-3 に建設する。
8 月 2 日	第 34 回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第 12 分団（現第 11 分団）が出場する（横浜市杉田製作所ヘリポートにて実施）。
10 月	第 3 分団 1 班の車両を小型動力ポンプ付積載車・トヨタ 1580cc に更新する。
昭和 60 年 2 月 8 日	日本消防協会会長表彰として消防団に「竿頭綬」が授与される。
4 月 1 日	旧第 8 分団と旧第 9 分団が統合し現第 7 分団となる。改正により全分団の分団人も見直され、現在の 1 消防団本部、12 個分団、250 人の体制となる。
8 月 11 日	第 1 回大和市消防操法大会を車体工業グラウンドで開催する。最優秀賞に第 11 分団 1 班が、優秀賞に第 2 分団・第 8 分団が、優良賞に第 1 分団・第 5 分団・第 10 分団 1 班が受賞する。
12 月	第 11 分団 1 班の車両を小型動力ポンプ付積載車・ニッサン 1590cc に更新する。
昭和 61 年 8 月 1 日	第 35 回県消防操法大会に小型動力ポンプの部に第 12 分団が出場する（平塚市オーミケンシ(株)工場跡にて実施）。
11 月	第 3 分団 3 班の車両を小型動力ポンプ付積載車・トヨタ 1620cc に更新する。
	第 10 分団 1 班の車両を小型動力ポンプ付積載車・トヨタ 1620cc に更新する。
昭和 62 年 2 月 9 日	第 6 分団車庫詰所（鉄骨造 2 階建）を南林間三丁目 7-6 に建設する。
8 月 2 日	第 2 回大和市消防操法大会を実施、最優秀賞に第 3 分団 1 班が、優秀賞に第 2 分団・第 8 分団が、優良賞に第 1 分団・第 10 分団・第 12 分団が受賞する。

昭和 63 年 8 月 4 日	第 36 回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第 2 分団が出場する(横浜市消防訓練センターにて実施)。
平成元年 4 月 1 日	菅 沼 善 治 郎 氏が県央都市消防団長会会長就任 (平成元年 4 月 1 日から)
8 月 6 日	第 3 回大和市消防操法大会を実施、最優秀賞を第 4 分団が、優秀賞を第 5 分団・第 11 分団 2 班が、優良賞を第 8 分団・第 9 分団・第 11 分団 1 班が受賞する。
10 月 27 日	第 7 分団の車両を小型動力ポンプ付積載車・トヨタ 1610cc に更新する。
平成 2 年 7 月 16 日	消防団長用車両 (トヨタマーク II) を購入する。
7 月 26 日	第 37 回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第 9 分団が出場し、優秀賞を受賞する (横浜市消防訓練センターにて実施)。
9 月 7 日	第 2 分団の車両を小型動力ポンプ付積載車・トヨタ 1810cc に更新する。 第 4 分団の車両を小型動力ポンプ付積載車・トヨタ 1810cc に更新する。
平成 3 年 3 月 6 日	消防庁長官表彰として「竿頭綬」が消防本部・消防団に授与される。
8 月 4 日	第 4 回大和市消防操法大会を実施、最優秀賞を第 11 分団 1 班、優秀賞を第 3 分団 B、優良賞を第 1 分団が受賞する。
平成 4 年 2 月 13 日	第 6 分団の車両を小型動力ポンプ付積載車・ニッサン 1990cc に更新する。
4 月 1 日	大和市消防団第 9 代消防団長に岩 崎 豊 氏就任
7 月 26 日	第 38 回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第 4 分団が出場し、優秀賞を受賞する (横浜市消防訓練センターにて実施)。
11 月 29 日	消防団活性化事業の一環として永年勤続団員の配偶者表彰制度を制定
平成 5 年 1 月 19 日	第 10 分団 3 班の車両を小型動力ポンプ付積載車・トヨタ 1810cc に更新する。 第 12 分団の車両を小型動力ポンプ付積載車・トヨタ 1810cc に更新する。
3 月 13 日	神奈川県消防協会より「表彰旗」が消防団に授与される。
8 月 1 日	第 5 回大和市消防操法大会を実施、最優秀賞を第 6 分団が、優秀賞を第 3 分団 B が、優良賞を第 3 分団 A が受賞する。
平成 6 年 7 月 28 日	第 39 回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第 1 分団が出場し、優良賞を受賞する (横浜市消防訓練センターにて実施)。
9 月 14 日	第 5 分団の車両を小型動力ポンプ付積載車・トヨタ 1990cc に更新する。 第 9 分団の車両を小型動力ポンプ付積載車・トヨタ 1990cc に更新する。
平成 7 年 7 月 30 日	第 6 回大和市消防操法大会を実施、最優秀賞を第 8 分団が、優秀賞を第 11 分団 2 班が、優良賞を第 4 分団が受賞する。
8 月 29 日	第 1 分団の車両を小型動力ポンプ付積載車・トヨタ 1990cc に更新する。 第 11 分団 2 班の車両を小型動力ポンプ付積載車・トヨタ 1990cc に更新する。
平成 8 年 7 月 25 日	第 40 回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第 7 分団が出場し、優良賞を受賞する (県総合防災センターにて実施)。
10 月 25 日	第 3 分団 1 班の車両を小型動力ポンプ付積載車・ニッサン 1990cc に更新する。 第 10 分団 2 班の車両を小型動力ポンプ付積載車・ニッサン 1990cc に更新する。
平成 9 年 11 月 28 日	第 3 分団 2 班の車両を小型動力ポンプ付積載車・ニッサン 1990cc に更新する。

平成 9 年 11 月 28 日	第 11 分団 1 班の車両を小型動力ポンプ付積載車・ニッサン 1990cc に更新する。
平成 10 年 3 月 10 日	第 5 分団車庫詰所（鉄骨造 2 階建）を中央林間一丁目 4-9 に建設する。
3 月 25 日	第 10 分団 1 班の車両を小型動力ポンプ付積載車・ニッサン 1990cc に更新する（日本消防協会から寄贈）。
4 月 1 日	大和市消防団第 10 代消防団長に鈴木茂雄氏就任
7 月 29 日	第 41 回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第 8 分団が出場し、優良賞を受賞する（県総合防災センターにて実施）。
10 月 9 日	第 3 分団 3 班の車両を小型動力ポンプ付積載車・トヨタ 1990cc に更新する。
平成 11 年 8 月 1 日	大和市消防団・団旗を更新する。 大和市消防技術競技会（操法大会名称を改正）を実施する、最優秀賞を第 8 分団が、優秀賞を第 7 分団が、優良賞を第 3 分団 B が特別賞を第 2 分団が受賞する。
平成 12 年 3 月 8 日	消防庁長官表彰として、消防本部・消防団に「表彰旗」が授与される。
7 月 26 日	第 42 回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第 10 分団が出場し、優良賞を受賞する（県総合防災センターにて実施）。
9 月 26 日	消防団員の冬・夏作業帽をアポロキャップ式に変更する。
平成 13 年 12 月 1 日	大和市消防団・分団旗を更新する。
平成 14 年 7 月 24 日	第 43 回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第 6 分団が出場し、優良賞を受賞する（県総合防災センターにて実施）。
10 月 1 日	消防団員の防寒着をフライトジャンパー式に変更する。
平成 15 年 7 月 27 日	大和市技術競技会が開催され、最優秀賞第 2 分団・優秀賞第 3 分団・優良賞第 8 分団が受賞する（引地台公園多目的広場にて実施）。
9 月 26 日	第 7 分団の車両を小型動力ポンプ付積載車・トヨタ 1990cc に更新する。
平成 16 年 3 月 2 日	第 2 分団車庫詰所（鉄骨造平屋建）を下鶴間 2359 番地に建設する。
4 月 1 日	鈴木茂雄氏が県央都市消防団長会会長就任（平成 16 年 4 月 1 日から平成 18 年 3 月 31 日まで）
4 月 6 日	第 4 分団車庫詰所（鉄骨造 2 階建）を大和南一丁目 7-14 に建設する。
7 月 28 日	第 44 回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第 3 分団が出場し、優良賞を受賞する（県総合防災センターにて実施）。
平成 17 年 2 月 2 日	第 2 分団・第 4 分団の車両を小型動力ポンプ付積載車・日産 1990cc に更新する。
7 月 24 日	大和市消防団操法大会（技術競技会名称を改正）が開催され、最優秀賞第 2 分団・優秀賞第 8 分団・優良賞第 10 分団が受賞する（引地台公園多目的広場にて実施）。
12 月 5 日	第 11 分団 1 班車庫詰所（鉄骨造平屋建）を代官一丁目 20 に建設する。
平成 18 年 4 月 1 日	大和市消防団第 11 代消防団長に山下正秀氏就任
7 月 26 日	第 45 回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第 5 分団が出場し、優良賞を受賞する（県総合防災センターにて実施）。
10 月 1 日	作業服を総務省の準則に準拠した活動服に変更する。
12 月 8 日	第 9 分団車庫詰所（鉄骨造 2 階建）を中央六丁目 2-23 に建設する。
平成 19 年 2 月 8 日	日本消防協会会長表彰として「竿頭綬」が消防団に授与される。

平成 19 年 7 月 29 日	大和市消防団操法大会が開催され、最優秀賞第 2 分団・優秀賞第 3 分団・優良賞第 11 分団が受賞する（引地台公園多目的広場にて実施）。
10 月 25 日	第 12 分団車庫詰所（鉄骨造 2 階建）を渋谷八丁目 16-11 に建設する。
平成 20 年 1 月 24 日	第 6 分団の車両を小型動力ポンプ付積載車・トヨタ 1990cc に更新した。
4 月 1 日	山下正秀氏が県央都市消防団長会副会長就任（平成 20 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日まで） 団本部に本部分団長 2 人を配置した。
7 月 30 日	第 46 回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第 11 分団が出場し、優良賞を受賞する（県総合防災センターにて実施）。
12 月 3 日	第 10 分団 3 班・第 12 分団の車両を小型動力ポンプ付積載車・日産 1990cc に更新する。
平成 21 年 1 月 22 日	第 10 分団 3 班車庫詰所（鉄骨造 2 階建）を上和田 1191 番地 1 に建設する。
7 月 26 日	大和市消防操法大会が開催され、最優秀賞第 2 分団・優秀賞第 12 分団・優良賞第 3 分団が受賞する（引地台公園多目的広場にて実施）。
10 月 5 日	第 8 分団の車両を小型動力ポンプ付積載車・日産 1990cc に更新する。
平成 22 年 4 月 1 日	大和市消防団第 12 代消防団長に北島照介氏就任
5 月 30 日	旧相模原土木管内の 4 市合同水防演習が相模川河川敷で行われる。
7 月 25 日	第 47 回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第 12 分団が出場し、優良賞を受賞する（県総合防災センターにて実施）。
平成 23 年 3 月 11 日	東北地方太平洋沖地震発生により、市内震度 5 弱を観測したため全団員に非常招集・詰所待機の指示（市内に大きな被害なし）。
3 月 22 日	神奈川県消防協会より「竿頭綬」が消防団に授与される。
7 月 31 日	大和市消防操法大会が開催され、最優秀賞第 2 分団・優秀賞第 9 分団・優良賞第 8 分団が受賞する（引地台公園多目的広場にて実施）。
平成 24 年 3 月 1 日	大和市消防団にチェーンソー 17 台を配備する。
3 月 4 日	第 7 分団車庫詰所（鉄骨造 2 階建）を西鶴間四丁目 2-31 に建設する。
3 月 12 日	大和市消防団にデジタル MCA 無線機 40 台を配備する。
4 月 1 日	北島照介氏が県央都市消防団長会副会長就任（平成 24 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで）
7 月 24 日	第 48 回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第 2 分団が出場し、優秀賞を受賞する（県総合防災センターにて実施）。
10 月 16 日	積載台車付小型動力ポンプ 7 台及び震災対策用資機材（レスキューキット）34 台を配備する。
平成 25 年 7 月 21 日	大和市消防操法大会が開催され、最優秀賞第 2 分団・優秀賞第 9 分団・優良賞第 11 分団が受賞する（引地台公園多目的広場にて実施）。
7 月 25 日	積載台車付小型動力ポンプ 8 台を配備する。
8 月 30 日	第 1 分団・第 3 分団 3 班に資機材倉庫を設置する。
平成 26 年 1 月 24 日	第 5 分団・第 9 分団の車両を小型動力ポンプ付積載車・日産 1990cc に更新する。
3 月 31 日	第 3 分団 1 班・第 6 分団・第 8 分団・第 10 分団 1 班・第 10 分団 2 班に資機材倉庫を設置する。
4 月 1 日	消防団活動に積極的に協力している事業所等に表示証を交付し、地域の消防防災力の充実及び強化を図るため、大和市消防団協力事業所表示制

	度実施要綱を制定
7月30日	第49回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第9分団が出場し、優秀賞を受賞する（県総合防災センターにて実施）。
8月1日	株式会社篤厚自動車、社会福祉法人二津屋福祉会ロゼホームつきみ野、極東開発工業株式会社横浜工場の3事業所が大和市消防団協力事業所表示制度の認定を受け表示証が交付される。
11月28日	第11分団2班に資機材倉庫を設置する。
平成27年1月28日	積載台車付小型動力ポンプ2台を配備する。
8月2日	大和市消防操法大会が開催され、最優秀賞第2分団・優秀賞第10分団・優良賞第3分団Aが受賞する（引地台公園多目的広場にて実施）。
平成28年2月14日	第1分団・第11分団2班の車両を小型動力ポンプ付積載車・日産1990ccに更新する。
4月1日	大和市消防団第13代消防団長及び県央都市消防団長会副会長に井上貴雄氏が就任（平成28年4月1日から平成30年3月31日まで）
7月28日	第50回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第4分団が出場し、優良賞を受賞する（県総合防災センターにて実施）。
平成29年2月25日	第3分団1班・第10分団2班の車両を小型動力ポンプ付積載車・日産1990ccに更新する。
7月2日	第3分団2班車庫詰所（鉄骨造2階建）を深見3021番地2に建設する。大和市消防操法大会が開催され、最優秀賞第9分団・優秀賞第2分団・優良賞第1分団が受賞する（引地台公園多目的広場にて実施）。
平成30年3月4日	第3分団2班・第11分団1班の車両を小型動力ポンプ付積載車・日産1990ccに更新する。
7月25日	第51回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第1分団が出場し、49年ぶりの快挙となる最優秀賞を受賞する（県総合防災センターにて実施）。
10月16日	消防団本部の車両を消防団連絡車に更新する。
平成31年1月27日	第10分団1班の車両を小型動力ポンプ付積載車・日産1990ccに更新する。
令和元年8月4日	大和市消防操法大会が開催され、最優秀賞第1分団・優秀賞第7分団・優良賞第10分団が受賞する（大興物産株式会社横浜支店横浜機材センターにて実施）。
8月8日	消防団本部に消防団資機材搬送車を配置する。
令和2年2月22日	第3分団3班の車両を小型動力ポンプ付積載車・日産1990ccに更新する。第11分団2班車庫詰所（鉄骨造2階建）を上和田3429番地4に建設する。
4月1日	大和市消防団第14代消防団長に小菅実氏就任 小菅実氏が県央都市消防団長会副会長就任（令和2年4月1日から令和4年3月31日）
7月15日	第52回県消防操法大会が新型コロナウイルス感染症の影響にて中止
12月7日	消防団専用スタンドパイプ消火資機材を配備する。
令和3年7月14日	第53回県消防操法大会が新型コロナウイルス感染症の影響にて中止

令和 4年 2月 25日	有限会社アクティブテクノが、総務省消防庁長官から消防団活動に協力している実績が特に顕著な事業所等として消防団等地域活動表彰を受賞する。
4月 1日	市の消防団活動に取り組み、社会貢献した学生の就職活動支援を目的とする大和市学生消防団活動認証制度を施行する。
7月 15日	消防団員の処遇改善、団員確保を目的に費用弁償としていた出動手当を改め出動報酬を創設して報酬額を上げ、条例改正し施行する。
7月 15日	第 54 回県消防操法大会の小型動力ポンプの部に第 8 分団が出場し、優良賞を受賞する（県総合防災センターにて実施）。
令和 5年 4月 1日	大和市消防車両等の管理及び安全運転の服務に関する規程を制定
7月 2日	大和市消防操法大会が開催され、最優秀賞第 1 分団・優秀賞第 7 分団・優良賞第 2 分団が受賞した（引地台公園令和広場にて実施）。
令和 6年 3月 26日	第 7 分団の車両を小型動力ポンプ付積載車・トヨタ 1990cc に更新した。
4月 1日	総務省消防庁の準則に準拠した活動服に変更した。 小菅 実 氏が県央都市消防団長会会長就任(令和 6 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで)

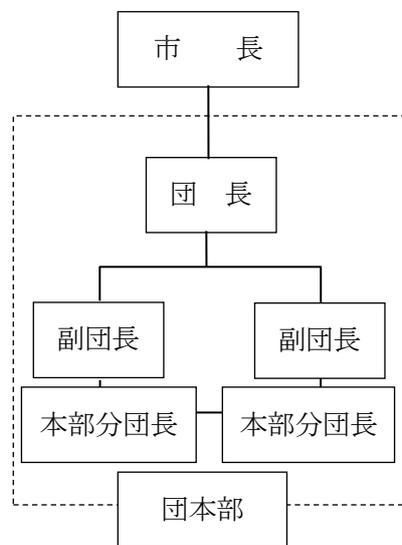
2 歴代消防団長

(敬称省略)

歴代	氏名	就任年月日
初代	荻 窪 直 義	昭和34年2月1日
2代	佐 藤 幸 光	昭和36年1月14日
3代	北 嶋 次 郎	昭和39年2月7日
4代	金 子 利 良	昭和40年1月26日
5代	平 出 寛	昭和42年1月31日
6代	坪 井 源 二 郎	昭和44年4月1日
7代	木 下 隆 吉	昭和50年4月1日
8代	菅 沼 善 治 郎	昭和58年4月1日
9代	岩 崎 豊	平成4年4月1日
10代	鈴 木 茂 雄	平成10年4月1日
11代	山 下 正 秀	平成18年4月1日
12代	北 島 照 介	平成22年4月1日
13代	井 上 貴 雄	平成28年4月1日
14代	小 菅 実	令和2年4月1日

3 消防団の現況

(1) 消防団組織



(令和6年4月1日現在)

	消防団員数 (定員 250 人)								ポン プ数 小型 動力 ポン プ付 積載 車
	合 計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	
合計	209 (11)	1	2	14	12	12	38 (1)	130 (10)	17
第1分団	5	1	2	2	—	—	—	—	—
第2分団	15	—	—	1	1	1	3	9	1
第3分団 3班	27 (1)	—	—	1	1	1	4	20 (1)	3
第4分団	13 (1)	—	—	1	1	1	3	7 (1)	1
第5分団	11 (2)	—	—	1	1	1	3 (1)	5 (1)	1
第6分団	17	—	—	1	1	1	3	11	1
第7分団	18	—	—	1	1	1	3	12	1
第8分団	12	—	—	1	1	1	3	6	1
第9分団	13 (1)	—	—	1	1	1	3	7 (1)	1
第10分団 3班	27 (2)	—	—	1	1	1	4	20 (2)	3
第11分団 2班	20 (2)	—	—	1	1	1	3	14 (2)	2
第12分団	16 (2)	—	—	1	1	1	3	10 (2)	1

※ () 内は女性団員数

※ 1団 12個分団 5班 17車両

(2) 消防分団受持区域図

消防団は、地域社会における防災の中核として重要な役割を果たしています。

本市では、市内を12のブロックに分け、1消防団本部、12個分団、17車両を配置しております。

(受持区域)

第1分団	下鶴間の一部並びにつきみ野三丁目の一部、四丁目及び五丁目～八丁目まで
第2分団	下鶴間の一部、つきみ野一丁目、二丁目、三丁目の一部及び四丁目の一部、下鶴間一丁目及び二丁目並びに中央林間七丁目
第3分団	深見の一部、深見台一丁目の一部、二丁目、三丁目の一部及び四丁目、深見東一丁目～三丁目まで、深見西二丁目の一部、三丁目の一部、四丁目の一部及び五丁目～八丁目まで並びに大和東三丁目の一部
第4分団	大和東一丁目の一部、二丁目及び三丁目の一部、深見西一丁目、二丁目の一部、三丁目の一部及び四丁目の一部、大和南一丁目及び二丁目並びに深見台一丁目の一部及び三丁目の一部
第5分団	中央林間一丁目～六丁目まで、八丁目及び九丁目及び中央林間西一丁目～七丁目まで
第6分団	南林間一丁目～九丁目まで並びに林間一丁目及び二丁目
第7分団	西鶴間一丁目～八丁目まで並びに鶴間一丁目及び二丁目
第8分団	上草柳、上草柳一丁目～九丁目まで及び桜森一丁目～三丁目まで
第9分団	下草柳、中央一丁目～七丁目まで、草柳一丁目～三丁目まで並びに柳橋一丁目及び四丁目の一部
第10分団	上和田の一部、福田の一部、柳橋二丁目、三丁目、四丁目の一部及び五丁目並びに福田一丁目、二丁目、七丁目及び八丁目
第11分団	上和田の一部、代官一丁目～四丁目まで、福田の一部及び三丁目～六丁目まで並びに渋谷一丁目～三丁目まで、四丁目の一部、五丁目の一部及び六丁目の一部
第12分団	上和田の一部、下和田の一部、福田の一部並びに渋谷四丁目の一部、五丁目の一部、六丁目の一部、七丁目及び八丁目



※ 各分団の受持ち区域はありますが、災害時や訓練及び催事の際、隣接分団との協力体制は万全に図られており、大和市全体をカバーしています。

(3) 消防分団施設

(令和6年4月1日現在)

区分 分団 班	車庫詰所・機械器具置場					
	所在地	建築年月	構造	敷地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)
1	下鶴間 466-2	S 58.2	鉄骨造 2 階建	103.79	29.81	49.67
2	下鶴間 2359	H 16.3	鉄骨造平屋建	134.56	69.12	69.12
3	1 深見 484-4	S 57.3	鉄骨造 2 階建	105.03	29.81	49.67
	2 深見 3021-2	H 29.2	鉄骨造 2 階建	120.06	44.90	74.35
	3 深見 3328-14	S 59.3	鉄骨造 2 階建	126.25	29.81	49.67
4	大和南一丁目 7-14	H 16.4	鉄骨造 2 階建	67.71	36.92	65.04
5	中央林間一丁目 4-9	H 10.3	鉄骨造 2 階建	132.51	42.07	83.09
6	南林間三丁目 7-6	S 62.2	鉄骨造 2 階建	138.18	29.81	49.67
7	西鶴間四丁目 2-31	H 24.3	鉄骨造 2 階建	129.52	36.90	73.80
8	上草柳 197-5	S 58.2	鉄骨造 2 階建	116.00	29.81	49.67
9	中央六丁目 2-23	H 18.12	鉄骨造 2 階建	100.00	38.27	73.80
10	1 上和田 947-15	S 57.3	鉄骨造 2 階建	138.38	29.81	49.67
	2 福田一丁目 30-3	S 59.3	鉄骨造 2 階建	120.00	29.81	49.67
	3 上和田 1191-1	H 21.1	鉄骨造 2 階建	130.19	38.17	73.80
11	1 代官一丁目 20	H 17.12	鉄骨造平屋建	95.00	47.27	47.27
	2 上和田 3429-4	R 2.2	鉄骨造 2 階建	137.44	67.50	127.50
12	渋谷八丁目 16-11	H 19.10	鉄骨造 2 階建	120.00	39.40	74.52
器具 置場	鶴間一丁目 13-23	S 55.3	鉄骨造 2 階建	167.72	23.18	43.05

(4) 消防分団現有車両

(令和6年4月1日現在)

区分 分団 班	種 別	登録 年月	登 録 番 号	エンジン 排気量 (cc)	ポ ン プ		備 考	
					社名	級別		
団本部	消防団連絡車	H 30.10	相模 301 め 9327	2,350				
団本部	消防団 資機材搬送車	R 1.7	相模 480 せ 8367	650				
1	小型動力 ポンプ付積載車	H 28.1	相模 800 せ 58	1,990	ト-ハツ	B-2	デジタル 無 線 受 令 機 積 載	
2	〃	H 17.2	相模 800 す 701	1,990	〃	〃		
3	1	〃	H 29.1	相模 800 せ 914	1,990	〃		〃
	2	〃	H 30.1	相模 800 せ 1888	1,990	〃		〃
	3	〃	R 2.2	相模 800 せ 3976	1,990	〃		〃
4	〃	H 17.2	相模 800 す 702	1,990	〃	〃		
5	〃	H 26.1	相模 800 す 8587	1,990	〃	〃		
6	〃	H 20.1	相模 800 す 4108	1,990	〃	〃		
7	〃	R 6.3	相模 830 せ 2307	1,990	〃	〃		
8	〃	H 21.10	相模 800 す 5468	1,990	〃	〃		
9	〃	H 26.1	相模 800 す 8586	1,990	〃	〃		
10	1	〃	H 31.1	相模 800 せ 2928	1,990	〃		〃
	2	〃	H 29.1	相模 800 せ 916	1,990	〃	〃	
	3	〃	H 20.12	相模 800 す 4873	1,990	〃	〃	
11	1	〃	H 30.1	相模 800 せ 1887	1,990	〃	〃	
	2	〃	H 28.1	相模 800 せ 59	1,990	〃	〃	
12	〃	H 20.12	相模 800 す 4874	1,990	〃	〃		

4 消防団員

(1) 年齢別・階級別消防団員数

(令和6年4月1日現在)

区分 年齢別	人数計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
18歳未満								
18歳								
19歳	2							2
20歳	6							6
21歳	2							2
22歳	2							2
23歳	5							5
24歳								
25歳	2							2
26歳	1							1
27歳	1							1
28歳	5						1	4
29歳	2							2
30歳	1							1
31歳								
32歳	1							1
33歳	2							2
34歳	2							2
35歳	3						1	2
36歳	5							5
37歳	9					1	3	5
38歳	3			1			1	1
39歳	4					1	1	2
40歳	6					1	1	4
41歳	13				1	3		9
42歳	5				1		2	2
43歳	5						1	4
44歳	3					1		2
45歳	10				1		2	7
46歳	9				1		3	5
47歳	8				2		1	5
48歳	10			2		1	2	5
49歳	7			1			2	4
50歳	14			3		1	3	7
51歳	11		1	2	1	1	4	2
52歳	4				1		1	2
53歳	7			3	1			3

54歳	3				1		1	1
55歳	6			1	1		1	3
56歳	6			1			1	4
57歳	3		1					2
58歳	8					1	4	3
59歳	2							2
60歳								
61歳	1				1			
62歳	1							1
63歳	3						1	2
64歳	1							1
65歳以上	5	1				1	1	2
合計	209	1	2	14	12	12	38	130

※ 令和6年4月1日現在の平均年齢は44.39歳です。

(2) 在職年数別消防団員数

(令和6年4月1日現在)

在職年数別 分団別	合計	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
団本部	5					2		3
第1分団	15	5	3	3	2	1	1	
第2分団	15	8	4	1	1	1		
第3分団	27	6	2	6	4	7	2	
第4分団	13	7	1	1	3		1	
第5分団	11	6	1	2	1	1		
第6分団	17	9	6	1	1			
第7分団	18	7	2	1	3		3	2
第8分団	12	4		4	3	1		
第9分団	13	5	3	2	1	1		1
第10分団	27	7	6	7	4	2		1
第11分団	20	6	7	2	2		2	1
第12分団	16	3	6	4	1	1		1
合計	209	73	41	34	26	17	9	9

(3) 職業別消防団員数

(令和6年4月1日現在)

職業 区分 分団別	合 計	職業別消防団員数					就業形態別消防団員数				
		国家公務員	日本郵政 グループ	地方公務員	特殊法人等 公務員	その他	被 用 者	被 用 者 の あ る 業 主	家 族 従 業 者	その他	
										学 生	そ の 他
団本部	5		1			4	1	1			3
第1分団	15					15	6	3	1	3	2
第2分団	15					15	8	3	1		3
第3分団	27		1		1	25	17	2	1		7
第4分団	13				1	12	6			3	4
第5分団	11					11	4	3		1	3
第6分団	17		5			12	8	2	2		5
第7分団	18		1	1		16	10	1		2	5
第8分団	12			1		11	7		3		2
第9分団	13				1	12	9	2	1		1
第10分団	27					27	18	3	2		4
第11分団	20				1	19	9	3		1	7
第12分団	16					16	5	5		1	5
合 計	209	0	8	2	4	195	108	28	11	11	51

5 報酬及び手当

(1) 消防団員報酬

(令和6年4月1日現在)

階 級	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
年額報酬(円)	127,000	101,000	82,000	57,000	51,000	44,500	41,500

(2) 消防団員出動手当

区 分	単 位	金 額
水、火災の発生による出動	1日あたり4時間未満	4,000円
	1日あたり4時間以上	8,000円
警戒・訓練のための出動	1日あたり	3,000円

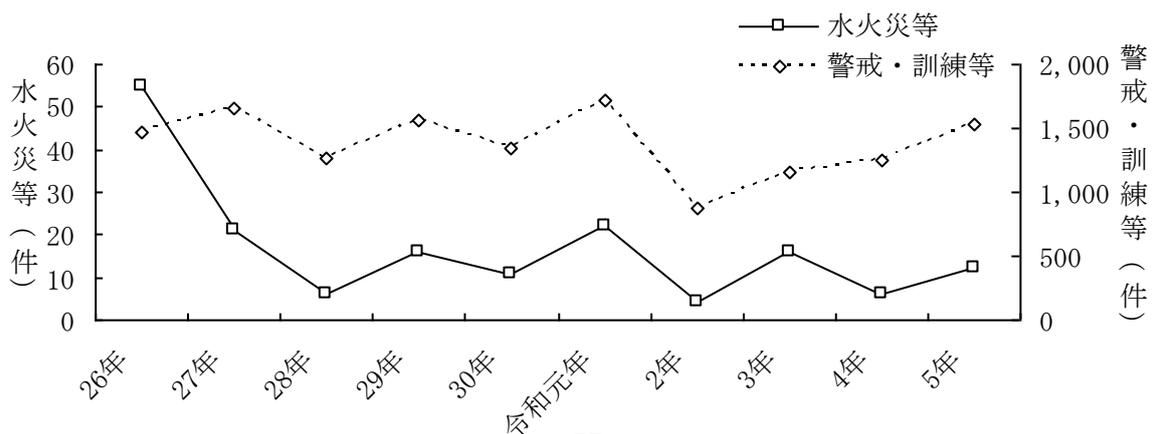
※ 報酬及び出動手当は、大和市が条例で規定している額であり市町村によって異なります。
本市のそれぞれの額は、概ね県内自治体の額の平均額です。

6 出動状況

(1) 年次別出動状況

種別 年別	合 計	水火災等	警戒・訓練等
26年	1,518	55	1,463
27年	1,677	21	1,656
28年	1,273	6	1,267
29年	1,583	16	1,567
30年	1,353	11	1,342
令和元年	1,747	22	1,725
2年	883	4	879
3年	1,139	16	1,123
4年	1,256	6	1,250
5年	1,545	12	1,533

【年次別出動件数】

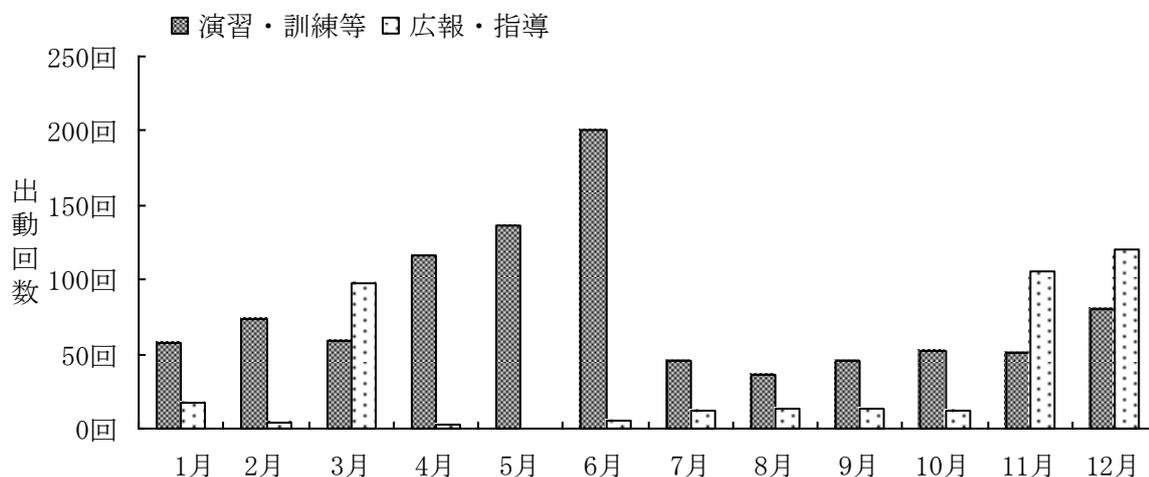


(2) 月別出動状況

(令和6年4月1日現在)

出動別 月別	合計		演習・訓練等		広報・指導		その他 (車両・器具点検)		火災						風水害等の災害	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	4 h 未満		4 h 以上		再燃パトロール		回数	人員
合計	1,545	9,523	952	5,870	403	2,329	178	1,260	12	64						
1月	89	562	58	373	17	92	13	95	1	2						
2月	92	433	73	322	4	20	15	91								
3月	171	935	59	310	98	542	12	75	2	8						
4月	136	868	116	746	3	10	17	112								
5月	154	1,135	136	988	0	0	18	147								
6月	220	1,555	201	1436	6	20	13	99								
7月	72	547	45	369	12	70	15	108								
8月	62	360	36	171	13	80	13	109								
9月	75	485	45	284	13	74	14	110	3	17						
10月	86	441	52	236	12	66	16	102	6	37						
11月	172	929	51	219	105	601	16	109								
12月	216	1,273	80	416	120	754	16	103								

【月別出動状況】



7 操法大会のあゆみ

(1) 神奈川県消防操法大会

年 度	大会	種 目	出 場 分 団	開 催 場 所	備 考
昭和 43 年	18 回	自動車ポンプ	第 7 分団 (現第 6 分団)	平塚市訓練センター	
44 年	19 回	小型動力ポンプ	第 3 分団	横須賀市不入斗公園	最優秀
45 年	20 回	自動車ポンプ	第 10 分団 (現第 5 分団)	神奈川県消防学校	
46 年	21 回	小型動力ポンプ	第 12 分団 (現第 11 分団)	神奈川県消防学校	
47 年	22 回	自動車ポンプ	第 13 分団 (現第 12 分団)	神奈川県消防学校	
48 年	23 回	自動車ポンプ	第 2 分団	神奈川県消防学校	
49 年	24 回	自動車ポンプ	第 5 分団 (現第 9 分団)	神奈川県消防学校	
50 年	25 回	小型動力ポンプ	第 8 分団 (現第 7 分団)	神奈川県消防学校	
51 年	26 回	自動車ポンプ	第 6 分団 (現第 4 分団)	神奈川県消防学校	優良
52 年	27 回	自動車ポンプ	第 1 分団	神奈川県消防学校	優良
53 年	28 回	小型動力ポンプ	第 9 分団 (現第 7 分団)	神奈川県消防学校	優良
54 年	29 回	小型動力ポンプ	第 4 分団 (現第 8 分団)	神奈川県消防学校	優良
55 年	30 回	小型動力ポンプ	第 11 分団 (現第 10 分団)	神奈川県消防学校	優良
56 年	31 回	小型動力ポンプ	第 7 分団 (現第 6 分団)	横浜市杉田製作所ヘリポート	優良
57 年	32 回	小型動力ポンプ	第 3 分団	横浜市杉田製作所ヘリポート	優秀
58 年	33 回	小型動力ポンプ	第 10 分団 (現第 5 分団)	平塚市オーミケンシ(株)工場跡	優良
59 年	34 回	小型動力ポンプ	第 12 分団 (現第 11 分団)	横浜市杉田製作所ヘリポート	優良
61 年	35 回	小型動力ポンプ	第 12 分団	平塚市オーミケンシ(株)工場跡	優良
63 年	36 回	小型動力ポンプ	第 2 分団	横浜市消防訓練センター	優良
平成 2 年	37 回	小型動力ポンプ	第 9 分団	横浜市消防訓練センター	優秀
4 年	38 回	小型動力ポンプ	第 4 分団	横浜市消防訓練センター	優秀
6 年	39 回	小型動力ポンプ	第 1 分団	横浜市消防訓練センター	優良
8 年	40 回	小型動力ポンプ	第 7 分団	県総合防災センター	優良
10 年	41 回	小型動力ポンプ	第 8 分団	県総合防災センター	優良
12 年	42 回	小型動力ポンプ	第 10 分団	県総合防災センター	優良
14 年	43 回	小型動力ポンプ	第 6 分団	県総合防災センター	優良
16 年	44 回	小型動力ポンプ	第 3 分団	県総合防災センター	優良
18 年	45 回	小型動力ポンプ	第 5 分団	県総合防災センター	優良
20 年	46 回	小型動力ポンプ	第 11 分団	県総合防災センター	優良
22 年	47 回	小型動力ポンプ	第 12 分団	県総合防災センター	優良
24 年	48 回	小型動力ポンプ	第 2 分団	県総合防災センター	優秀
26 年	49 回	小型動力ポンプ	第 9 分団	県総合防災センター	優秀
28 年	50 回	小型動力ポンプ	第 4 分団	県総合防災センター	優良
30 年	51 回	小型動力ポンプ	第 1 分団	県総合防災センター	最優秀
令和 2 年	52 回	小型動力ポンプ	新型コロナウイルス感染症の影響にて中止(第 7 分団)		
3 年	53 回	小型動力ポンプ			
4 年	54 回	小型動力ポンプ	第 8 分団	県総合防災センター	優良

(2) 大和市消防操法大会

	最優秀賞	優秀賞		優良賞		
第1回 (S60年)	第11分団 1班	第2分団	第8分団	第10分団 1班	第5分団	第1分団
第2回 (S62年)	第3分団 1班	第8分団	第2分団	第1分団	第10分団 1班	第12分団
第3回 (H元年)	第4分団	第11分団 2班	第5分団	第11分団 1班	第8分団	第9分団
第4回 (H3年)	第11分団 1班	第3分団B		第1分団		
	最優秀賞	優秀賞	優良賞	特別賞	PR賞	
第5回 (H5年)	第6分団	第3分団B	第3分団A			
第6回 (H7年)	第8分団	第11分団 2班	第4分団			
第7回 (H11年)	第8分団	第7分団	第3分団B	第2分団		
第8回 (H15年)	第2分団	第3分団A	第8分団	第7分団	第1分団	
第9回 (H17年)	第2分団	第8分団	第10分団	第5分団	第1分団	
	最優秀賞	優秀賞	優良賞	特別賞	努力賞	
第10回 (H19年)	第2分団	第3分団A	第11分団	第9分団	第8分団	
第11回 (H21年)	第2分団	第12分団	第3分団A	第6分団	第11分団 第4分団	
第12回 (H23年)	第2分団	第9分団	第8分団	第7分団	第3分団B	
第13回 (H25年)	第2分団	第9分団	第11分団	第1分団	第8分団	
第14回 (H27年)	第2分団	第10分団	第3分団A	第9分団	第7分団	
	最優秀賞	優秀賞	優良賞	消防火の丸会 会長賞	努力賞	
第15回 (H29年)	第9分団	第2分団B	第1分団	第9分団	第7分団	
第16回 (R元年)	第1分団	第7分団	第10分団	第1分団	第2分団	
第17回 (R5年)	第1分団	第7分団	第2分団	第10分団	第4分団	

「第1回から第17回（令和5年度）まで」

- ※ 第10回大会からPR賞を廃止、努力賞へ変更
- ※ 第15回大会より特別賞を廃止し、消防火の丸会会長賞へ変更
- ※ 令和3年に予定されていた市操法大会は新型コロナウイルスの影響により未開催

8 消防団協力事業所

消防団が活動するための良好な環境づくりの推進に対し、事業所等が重要な役割を果たしていることに鑑み、大和市消防団の活動に積極的に協力している事業所等に対して表示証を交付し、地域の消防防災力の一層の充実及び強化を図ります。

(1) 総務省消防庁消防団協力事業所（ゴールドマークプレート）

- ・有限会社 アクティブテクノ

(2) 大和市消防団協力事業所（シルバーマークプレート）

- ・株式会社 篤厚自動車
- ・極東開発工業株式会社 横浜工場
- ・有限会社 アクティブテクノ

9 消防団等地域活動表彰

地域に密着した平常時の活動を積極的に行い、地域防災力の向上に寄与し、消防団員である勤務者を雇用し、消防団活動へ特に深い理解や協力を示している事業所等に対して消防長長官から表彰状と記念品を授与されるものです。

- ・有限会社 アクティブテクノ（令和3年度受賞）

大 和 市 消 防 年 報

(令和6年版)

令和6年9月刊行

編集 大和市消防本部

〒242-0018 大和市深見西四丁目4番6号

電 話 046-261-1119 (代)

F A X 046-262-0119
